

<令和5年度実績>

1 ヤングケアラー・コーディネーターの配置

子ども家庭総合支援拠点（子ども未来課内）にヤングケアラー・コーディネーターを配置して相談・支援を行うとともに関係者等への研修や市民の理解を深めるための啓発を行った。

2 ヤングケアラーに関する調査の実施

本市におけるヤングケアラーの実態を把握し、支援を必要とするヤングケアラーとその家族に対する具体的な支援の在り方を検討することを目的に調査を実施した。また、調査実施後に各小中学校に聞き取りを行い、支援が必要な子どもの洗い出しを行った。現在、ケースとして対応中。

(1) ヤングケアラー児童生徒調査

- ・回答者：小学校6年生の児童、中学校の全生徒 1,486人（回答率93.3%）
- ・調査期間：令和5年7月中
- ・調査結果：59人の児童生徒が家族の面倒を見たり、家の手伝いをしていると回答した。

(2) ヤングケアラー教職員調査

- ・回答者：市内小中学校の教職員（本務者・常勤講師） 235人（60.3%）
- ・調査期間：令和5年7月中
- ・調査結果：229人（97.4%）がヤングケアラーを認知していた。

(3) ヤングケアラー学校調査

- ・回答：市内小中学校 23校
- ・調査期間：令和5年7月～8月
- ・調査結果：ヤングケアラーとして16名（小学生8人、中学生8人）の報告があった。

3 講演会の実施

ヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげることができるよう、小中学校教職員等を対象に講演会を実施した。

(1) ヤングケアラー講演会

- ・受講者：小中学校教職員、保育所長及び認定こども園長（私立含む） 189人
- ・実施日：令和5年8月23日（水） 13時30分～15時30分
- ・演題：家庭に困難を抱える児童・生徒への対応（ヤングケアラー）
- ・講師：京都先端科学大学人文学部心理学科 准教授 上松幸一 氏

(2) 要保護児童対策地域協議会講演会

- ・受講者：要保護児童対策地域協議会関係者、保育所及び認定こども園職員（私立含む） 110人
- ・実施日：令和5年11月25日（土） 13時45分～15時30分
- ・演題：「ヤングケアラー・愛着障害を抱える子どもへの対応」
- ・講師：認定NPO法人 児童虐待防止協会 理事 白山真知子 氏

4 **普及啓発の実施**

ヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげることができるよう、市民を対象に普及啓発活動を行った。

(1) ヤングケアラー相談カード（こども向け）の配布

- ・対象者：市内小学6年生から中学3年生までの全児童生徒（1,793枚）、市内府立高校4校（各50枚）
- ・配布時期：令和5年10月

(2) 街頭啓発の実施

- ・実施日：令和5年11月8日（水） 17時30分～18時
- ・いじめ防止・こども虐待防止街頭啓発と同日実施

(3) 広報京丹後12月号への記事掲載

- ・ヤングケアラー児童生徒調査の結果を掲載